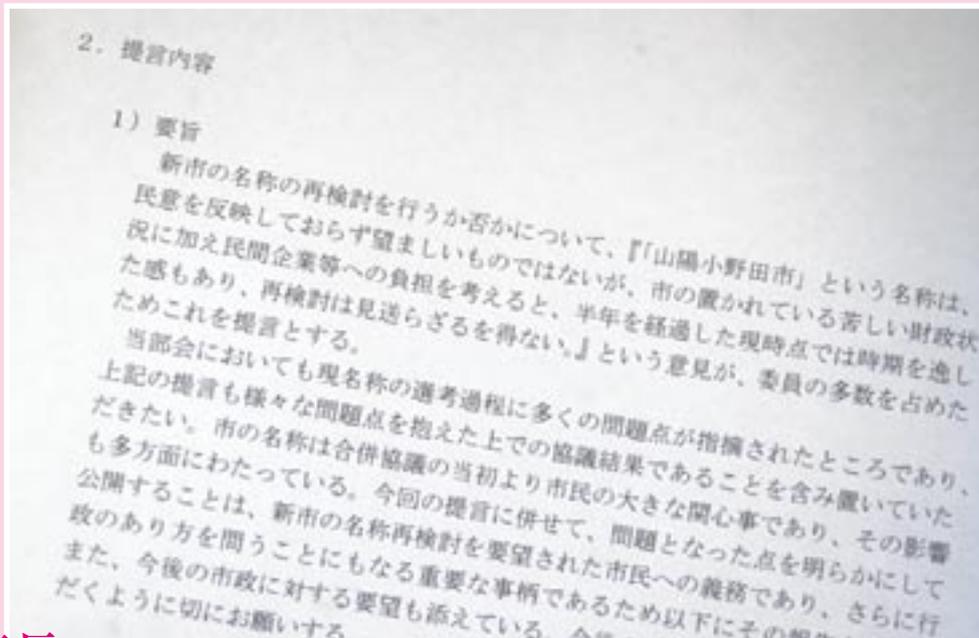


「市の名称」部会 白井市長へ提言書を提出

「『山陽小野田市』の名称について、 再検討は見送らざるを得ない」と提言



白井市長

「提言書の内容を全面的に受け入れ、 市の名称問題は終わりにします。」

まちづくり市民会議「市の名称」部会が、9月20日に行われた第4回の会合で、「『山陽小野田市』という名称は、民意を反映しておらず、望ましいものではないが、市の財政状況、民間企業等への負担を考えると、再検討は見送らざるを得ない」という提言書をまとめ、白井市長に提出しました。(全文を次ページから掲載しています。)

しかし、「山陽小野田市」の名称を決定するに至った過程において、民意が反映されていなかったという問題点を指摘するなど、今回の名称問題を契機に、今後の行政運営を行っていく上で、市民の声に耳を傾けること

の大切さについても記されています。

提言書を受け取った白井市長は「市民の大多数が支持するであろう提言書だと思います。これで、市の名称問題については、終息宣言をさせていただきます。『市の名称』部会の人のみならず、名称アンケートにご協力いただいた方々、ありがとうございました。今回の一件を市長として肝に銘じ、なお一層、市民の声を大切に、市政をすすめていきたいと考えます。」と語りました。

(8ページの「市長から市民のみなさんへ」もあわせてご覧ください。)